


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県】

学校名【 猪苗代町立緑小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	5学年・6学年 20名 猪苗代町立緑小学校 全6校 ボッチャ 大会参加者 5名×6校 30名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (○ 学級活動・総合的な学習の時間) ② 行事名 (○ 猪苗代町立緑小学校ボッチャ大会) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	「オリンピック・パラリンピックをもっと、もっと知ろう」(パラリンピック種目「ボッチャ」を深めよう)のテーマのもと、オリンピック・パラリンピックの歴史を学ぶとともに、自分たちからオリンピック・パラリンピックに関することを発信して学びを深めることができる。
5 取組内容	パラリンピック開催中に第6学年学級活動で話し合いを設け、「ボッチャ大会をやろう」という意見がまとまった。教育委員会に相談したところ快く承諾していただいた。児童は、日本のボッチャ代表選手の活躍をみて感動し、その上、自分たちで大会を開くという意欲を持つことができた。
	

	<p>また、11月には講師をお招きし、パラリンピックの歴史及びボッチャ競技の講習会と車いすバスケの体験を行った。12月の大会へ向けての意識がさらに高まった。</p> <p>1月には、社会科の授業「新しい日本、平和な日本」において、オリンピック・パラリンピックの歴史と背景について学習を進めることができた。児童は、「ボッチャ大会」のこともあり、大変意欲的に新聞にまとめたり、全校生へ向けてのクイズづくりを行ったりすることができた。</p>
6 主な成果	<p>自分たちで話し合い「ボッチャ大会を開こう」という案が教育委員会に快く承諾していただき児童の意欲が高まった時点で、このオリパラ推進事業推進校の目的に迫ることができたと感じた。さらに、この大会には猪苗代町のすべての小学校が参加することになり、町全体にボッチャ競技が広まり始めたことに喜びを感じた。その上、大会の優勝をめざし、練習を重ね、作戦パターンを作り大会に臨めたことはスポーツの特性に触れ、障がい者スポーツの奥深さにも触れることができた。</p> <p>ボッチャ競技大会当日は、予想以上に盛り上がり、各校の児童はもちろん引率の先生方も感動して大会を終わることができた。</p>
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<p>今年は、オリンピック・パラリンピックの開催年だったため、児童はテレビ等で観戦しながら自分たちは何ができるかと考えながら事業を進めることができた。</p> <p>多くの市町村の推進校ではオリンピック・パラリンピアンをお招きし講演という形であるが、わが校は自分たちからの発信で「ボッチャ大会を開催しよう」という新しい試みで実践できた点が特色と考えられる。</p>
8 主な課題等	<p>少ない予算の中、大変有意義な事業「猪苗代町立小学校ボッチャ大会」を開催できたと感じている。このオリパラ事業は、オリンピック・パラリンピック開催年だけの事業となり、折角の推進の意識が十分に育たないことはとても残念であるのでこの大会を継続していけたらと思う。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>今年度、町教育委員会で本事業を推進するためにボッチャの用具を購入していただいた。次年度も活用して障がい者スポーツへの理解を深めたり、今後の小学校統合に向けて「ボッチャ大会」を開催して各校の交流を図ったりできるようにしていく。</p>